# 災害時に取るべき行動を考える

# **7見町防災セミナー 「災害を忘れない」 開催**

た。館で開催され、約30人が参加しまし館で開催され、約30人が参加しましを忘れない」が10月11日に明和公民を記れない」が10月11日に明和公民の第2回只見町防災セミナー「災害

て意見交換をしました。 にどのような行動をすべきかにつ いる箇所の確認などを行い、 福島県支部の野崎謙 所や災害時に手助けが必要な人が 災害図上訓練では、 災害図上訓練を行 回 只見町の地図を使用し、 のセミナー は、 司氏を講師に招 日本赤 グ 、ループに分 ました。 災害時 十字社 危険

おくことなどの大切さを伝えました。し、日頃から危険個所の確認をしてを減らす『減災』が大切です」と話野崎氏は「命を守るために、被害



▲図上訓練で様々な情報が集まった地図



▲意見交換をしながら、地図上に危険箇所などを書き込む 参加者

# 明治安田生命保険相互会社友に一私の地一元応援募金出明治安田生命

地域に寄り添う社会貢献

寄附されました。業所から町に、691,400円が明治安田生命保険相互会社坂下営

ました。

明治安田生命保険相互会社では、明治安田生命保険相互会社では、

うございました。
有効に活用いたします。ありがとて欲しいです」と話しました。の寄附活動が只見町の元気に繋がっ



▲なお、只見町と明治安田生命は「健康増進に関する連携 協定」を結んでいます



▲佐藤副知事に要望書を手渡しました

# 促進期成同盟会が要望活動県道小林・舘の川線改良地域住民の安全な生活確保を目指す

当要望活動では、同県道が重要な生活路線であり、国道289号の代替性を有する路線でありながら、小替性を有する路線でありながら、小林〜亀岡間は未改良で落石の恐れや幅員が狭く、また熊倉〜小川間は改良済みではあるものの雪崩のため冬良済みではあるものの雪崩のため冬ら、それらに対する改良や整備を要ら、それらに対する改良や整備を要望しています。

新潟県央

基幹病院

三条市

北陸自動車道

# 命をつなぐ

定締結

所所長に城医師が着任

朝日診療所に常勤医師

市と同市にある新潟県央 )携協定を結びました。 見町 は 10 月1 自に、 (基幹病院と 新潟県三条

まれます。 院や会津若松市内の病院とな することを見据えたもので、 能になれば、 央基幹病院に救急搬送することが可 !からの主な救急搬送先は南 本協定により、 本協定は、 が令和8年秋 八十里越えを通り、 国道289号八 搬送時間の短縮が見込 ~9年夏頃 新潟県 現在町 に開通 って 会津 十里 病 越 41

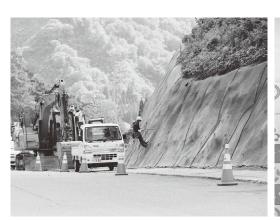
院にも只見町からの救急搬送の受け 里越道路の開通 後、 玉 新潟県央基幹病 道289号八十

N

ます。 れにご協力い 力 央基幹病院の医 していきます。 れに対し町 ただけるように は、 師 育成・ 三条市、 確保に 新

「地域枠に係る医学生及び卒業医師の 養成に関する協定」締結式 令和6年10月1 50

▲協定を交わした三者(右:滝沢市長、中:渡部 町長、左:遠藤病院長)



▲八十里越が開通することで、三条市への距離が近くな

磐越自動車道

、十里越区間

只見町役場

新潟県

福島県

252

▲開通に向けて工事が進む八十里越道路

▲1日から朝日診療所所長に着任した城医師(中央)と 調印式立会人の県医療人材対策室の風間室長

# 城 大祐医師 から着任 が朝日診療所所長に しました。

医師

の着任にあたり、

町 約

は

城

朝日診療所所長業務契

を 医

印式が10月30日に役場町下 県医療人材対策室の立会

1日 日診療所は、 令和6. 年9 Ă

常勤医師が退任され、 7 島 非常勤医師の いました。 穴や近 ) 隣医 |療機関の 10 月 協 から

祐医師に11月から朝日診療所に 常勤医師募集を行ったところ、 ただけることとなりました。 しま医師移住定住促進 地域医療の存続の ター バンクふくしま」 ため、 事業 県 を通じ、 の 城大 کم 0

みで外来診療を行 力によ 末で は 11 師と 舎で行われました。

まを通じて県内医療機関に 初の医師となります。 城 城医師は、 医師は週4日勤務で、 ドクター ンクふく 着 火 任 金 た

の診察予定です。

H



じょう たいすけ 城 大祐 医師

# ごあいさつ

町民の皆さんに温かくお迎 えしていただき、感謝してい ます。

病気の症状が出始めてから の診療はもちろんですが、病 気にならないための予防でも 皆さんのお力になりたいと考 えています。

これからよろしくお願いし ます。